



# パルフェスタ 2024 映画上映会

2024年3月2日 土 13:30~15:30

ウィメンズパル 多目的ホール (13:00開場)

参加無料  
先着200名

## 百合子、 ダスヴィダーニヤ

この愛がなんという名であろうとも、  
あなたの愛で、あなたという心の城をもって生きる。

明治・大正期に自分の言葉を持ちえた  
二人の女性たち、作家の宮本百合子と  
ロシア文学者の湯浅芳子。  
歴史上名高い二人の交流を『百合子、  
ダスヴィダーニヤ』を原作に描く。



(C) 巨匠舎



浜野佐知監督  
舞台挨拶あり

宮本百合子は17歳で書いた小説『貧しき人々の群』により天才少女と騒がれ、のちにプロレタリア作家として投獄・執筆禁止など、繰り返し弾圧に遭いながらも権力に抗い、作家活動を貫いた近代日本を代表する作家である。

湯浅芳子は『桜の園』『三人姉妹』『森は生きている』など多くの翻訳を世に送り出したロシア文学者である。

百合子と芳子、二人の関係は友愛か、それとも恋愛か。

『百合子、ダスヴィダーニヤ』（沢部ひとみ）、『伸子』『二つの庭』（宮本百合子）をもとに、往復書簡を紐解きながら、惹かれあい格闘する魂と魂の交差を描く。

「あいち国際女性映画祭 2011」上映作品。（株式会社旦々舎/2011年/102分）

出演：菜葉菜 一十三十一 大杉連 吉行和子 洞口依子

監督：浜野佐知 音楽：吉岡しげ美



浜野佐知 監督

1948年生まれ。高校時代から映画監督を目指し、上京して映画界への道を探るが、当時日本の映画界は男性中心の社会であり、映画会社への就職条件は、「大卒・男子」で、女性を演出部として採用するような前例は皆無だった。

1968年から、独立系の映画製作プロダクションで助監督として、映画製作にたずさわる。

1971年、ミリオンフィルム（現ヒューマックス）から、『17歳、好き好き族』で監督デビュー。

1985年、映画製作会社・株式会社旦々舎を設立。代表取締役。以後、監督・プロデューサーを兼任し、「性」を女性側からの視点で描くことをテーマに300本を超える作品を発表する。

## 申込方法 2月7日(水)午前8時から

オンライン申請または、はなしょうぶコールにて電話かファクスで受付。

定員に達し次第締め切ります。1歳以上就学前のお子さんを保育します（先着5名）。

☎ 電話 03-6758-2222（午前8時～午後8時）

ファクス 03-6758-2223（24時間対応）①映画上映会②氏名③連絡先④保育希望の有無を明記

🖨 オンライン申請 葛飾区ホームページ

<https://www.city.katsushika.lg.jp/event/1000106/1032297.html>

オンライン申請はこちらから⇒



会場  
問い合わせ

葛飾区男女平等推進センター（ウィメンズパル）  
葛飾区立石5-27-1 TEL：03-5698-2211